

[成果情報名] 白色秋ギク「精の一世」の栽培特性

[要約] 秋ギク「精の一世」は、9月から10月開花型において、腋芽の発生が少なく、ボリュームがある白色の優良品種である。

[キーワード] 秋ギク、精の一世、無側枝性、9月開花・10月開花

[担当] 長崎農技セ・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[代表] 電話 (代表) 0957-26-3330 (直通) 0957-26-4319

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

現在、県内の白色輪ギク主力品種は、6月～8月開花型は「岩の白扇」、11～5月開花型は「神馬」である。9～10開花型は、「岩の白扇」では奇形花の発生、「神馬」では高温による品質低下を招くことから、無側枝性品種「精の波」が導入されている。しかし、「精の波」は、生産現場ではハダニの発生が多く、茎が曲がりやすいなどの問題があり、代替品種の検討がなされてきた。

そこで、近年、民間で育成された無側枝性品種「精の一世」の9～10月開花型における生育、開花特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 直立性、立ち葉で草姿が優れる（写真1）。
2. 摘芽及び摘蕾作業が必要な腋芽の発生は、「神馬」に比べ著しく少ない（表1、表2、表3）。
3. 90cm調製重は、「精の波」、「神馬」より重い（表1、表2、表3）。
4. 到花日数は、「神馬」より3日長い（表1、表2、表3）。ただし、到花日数は50日程度であり（表1、表2、表3）、栽培上問題ない。

[成果の活用面・留意点]

1. 「精の一世」は、有限会社精興園の育成品種である。
2. 長崎県における「精の一世」の施設内での自然開花期は、10月上旬である。
3. 本試験ではいずれの品種でも病害虫の発生は見られなかった。
4. 「精の一世」は、高温期の草丈伸長性が悪いため、生育初期にジベレリン処理が必要である。
5. 他の無側枝性品種同様、奇形花発生の原因である多肥管理にならないよう注意する。

[具体的データ]

表1 9月開花型の生育特性 (2008年)

品種名	平均 収穫日	到花日数 (消灯日～ 収穫日) (日間)	消灯後		切花長 (cm)	葉数 (枚)	柳葉数 (枚)	花首長 (cm)	切花重 (g)	90cm 調製重 (g)	側枝節の状況		
			増加節数 (節)	草丈伸長 (cm)							摘芽 (個)	小芽 (個)	消失 (個)
精の一世	9月18日	49	28.8	31.0	89.2	66.2	4.4	3.0	109.4	108.6	1.0	0.4	48.6
精の波	9月19日	50	29.3	39.3	102.0	68.0	3.3	2.0	89.3	78.0	0.3	0.7	42.3
神馬	9月15日	46	24.3	34.0	98.0	57.7	2.0	1.7	74.7	70.0	34.0	5.7	0.3

注) 小芽は、腋芽はあるが、摘芽、摘蕾の必要がないもの。

注) 直挿し日 2008年6月9日

電照管理 点灯：2008年6月9日、消灯：2008年8月1日、再電照：なし

シェード処理 2008年8月1日～2008年8月25日：13時間 (18:00～7:00)

2008年8月26日～2008年9月15日：12.5時間 (18:00～6:30)

表2 10月開花型の生育特性 (2008年)

品種名	平均 収穫日	到花日数 (消灯日～ 収穫日) (日間)	消灯後		切花長 (cm)	葉数 (枚)	柳葉数 (枚)	花首長 (cm)	切花重 (g)	90cm 調製重 (g)	側枝節の状況		
			増加節数 (節)	草丈伸長 (cm)							摘芽 (個)	小芽 (個)	消失 (個)
精の一世	10月30日	47	27.0	33.5	99.5	71.0	3.0	3.0	115.5	105.0	1.5	0.5	47.0
神馬	10月27日	44	22.0	48.7	117.7	60.3	1.7	3.3	84.7	63.7	29.7	1.7	0.0

注) 直挿し日 2008年8月1日

電照管理 点灯：2008年8月1日、消灯：2008年9月14日、再電照：なし

表3 10月開花型の生育特性 (2009年)

品種名	平均 収穫日	到花日数 (消灯日～ 収穫日) (日間)	消灯後		切花長 (cm)	葉数 (枚)	柳葉数 (枚)	花首長 (cm)	切花重 (g)	90cm 調製重 (g)	側枝節の状況		
			増加節数 (節)	草丈伸長 (cm)							摘芽 (個)	小芽 (個)	消失 (個)
精の一世	11月3日	50	27.7	41.0	95.0	60.3	2.3	2.0	103.7	89.7	4.7	1.3	37.3
神馬	10月31日	47	24.7	42.7	105.3	58.3	2.0	2.6	80.3	58.3	28.7	5.7	0.0

注) 直挿し日 2009年7月24日

電照管理 点灯：2009年7月24日、消灯：2009年9月16日、再電照：なし



写真1. 「精の一世」の開花時草姿 (2009年)

[その他]

研究課題名：輪ギクの新品種育成と栽培技術確立

予算区分：県単

研究期間：2009～2011年度

研究担当者：峯大樹、茶谷正孝